共栄社 創業100周年記念祝賀会

三代の社長で成就

田母神俊雄氏が記念講演

林社長

共栄社は11月19日、JR豊橋駅ビル内のホテルアソシエで「創業100周年記念講演会、祝賀会」を開催した。最初に第29代航空幕僚長・田母神俊雄氏が「誇りある日本をつくるために」と題する記念講演。続いて1910年、林總吉氏が養蚕用の器具で創業して以来、2代目の林嘉一氏、そして3代目の現・林雅巳氏によって成就された100周年を祝った。

林社長（左）から表彰される櫛毛商会・櫛毛社長

有志による鏡開き

共栄社＝林雅巳社長、愛知県豊川市美幸町1－26＝の「創業100周年記念講演会、祝賀会」には約200名が出席した。最初に第29代航空幕僚長・田母神俊雄氏が「誇りある日本をつくるために」と題する記念講演を行った。この中で田母神氏は『相手にあなどられない外交力・防衛力が必要だ』と強調したが、あたかも現在、領土を巡って中国やロシアとの間がギクシャクしているだけに、講演終了後は賛同の拍手が多かった。

「記念祝賀会」は、DVD鑑賞（100年の歩み）を皮切りに林雅巳社長挨拶、㈱櫛毛商会（櫛毛文男社長）をはじめとする協力関係者への感謝状贈呈、豊川市（山脇実市長）へ芝刈機など30台、1000万円相当の目録贈呈、櫛毛社長謝詞、大澤輝秀豊川商工会議所会頭と北爪靖彦㈱やまびこ社長の来賓祝詞、有志による鏡開き－の順で進められ、祝宴に移った。

【林雅巳社長挨拶要旨】

3代の社長で100年を迎えることができた。これも関係各位のご支援の賜物と感謝申し上げる。創業100年を迎えられる企業は1.6％といわれ、その仲間入りを出来たのはうれしい限りだ。先日「100周年を迎えたのは、すばらしいことだが、それを3人の社長で成し遂げたこともすごいことだ」といわれた。100年の間に、初代はウォール街の大恐慌や、支那事変、大平洋戦争。2代目は戦後の混乱、工場出火など、幾度の苦難に遭遇しながらも、それを乗り越えてきた。私が社長になってからも現在の状況は国内では市場規模の縮小、輸出では円高と非常に厳しいが、まず国内の市場づくりをしっかりやっていく所存だ。そして、4代目を担う息子を中心とした若手にも大いに期待をかけているところだ。

【共栄社の歩み】

1910年、林總吉氏（故人）が豊川町（現豊川市）で養蚕具「2角式製蔟器」（蚕がマユを作りやすくするようワラを山のような形に折る器具）の製造を始めたのが最初。18年㈱共栄社。林總吉氏が初代社長に。22年、ダイヤモンド式人力脱穀機を開発、全国販売と併せ、アジアへ輸出。30年、マサル式製縄機を開発。45年、林嘉一氏（故人）が2代目社長に。55年、ホーネンス耕うん機を開発。56年、ダイヤモンド式動脱を開発。59年、バロネスグリーンモアを開発、芝刈機業界に進出。60年、創業50周年。63年、バロネスロータリーモアを開発、草刈機業界に進出、66年、バロネスハンマーナイフモアを開発。67年、トレンチャーを開発。78年、バロネス油圧式5連芝刈機を開発。82年、林雅巳氏が3代目社長に。83年、乗用ロータリーモアを開発。89年、新事務所、新機械工場完成。創業80周年。第1回私募債を発行。94年、関西・札幌営業所開設。2000年、自立走行無人機ロータリーモアを開発。ISO9001認証取得。01年、岡山営業所開設、中国に上海バロネス有限公司設立。04年、家庭用芝刈機のインターネット販売設立。06年、共栄社USA設立。多目的トラクタ「VENTRAC」の輸入販売開始。07年、共栄社UK設立。現在の資本金は3億円。また、従業員は266名。